

平成27年度指定
スーパーグローバルハイスクール

研究開発実施報告書
第5年次

令和2年3月

大阪教育大学附属高等学校平野校舎

スーパーグローバルハイスクールの取組みを終えるにあたって

本校は、文部科学省「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」指定校としての5年間の取組みを終えました。平成26年度のアソシエイト校（準指定校）の指定を経て、平成27、28、29、30年度、そして令和元年度と、改元をまたいだ5年間の活動はいったんの区切りを迎えます。

最終年度にあたる今年度も、海外フィールドワークなどの活動を実施し、1月11日に開催されたSGH課題研究発表会では、1・2年生の生徒たちが口頭発表・ポスター発表ともに充実した成果を見せてくれました。

この5年間、私たちは課題研究の指導法について研究を重ね、全ての教員が指導にあたるということを前提に、“平野メソッド”の開発と実践に取り組んできました。この“メソッド”はゼロからつくり上げたオリジナルというよりも、さまざまな前例や先行的な取組の成果を取り入れつつ、それをそのままではなく、生徒の実態と本校が目指す課題研究のありかたに合うようアレンジし、新たな方法として再構築したものであるという側面もあります。この意味では、まさに我々自身が課題を研究し、探究してきた軌跡でもあります。

そしてこの成果を、2019年3月に『これでわかる！探究学習の指導』として刊行しました。これは、課題研究におけるグループ活動に不可欠な合意形成のワークや、一連の流れの中で使用する各種指導ツールやシートなど、これまでの報告書でも紹介してきた様々なツールやメソッドを、その使用方法とともにわかりやすくまとめたものです。この書籍が各所で高評価をいただいていることは、わたしたちの大きな励みとなりました。また、指導法と同時に開発研究してきた、グローバル人材の評価システムもこの間にその有効性が確認されました。

「スーパーグローバルハイスクール」がはじまった5年前と現在とでは、世界の状況は大きく変わっています。これからの時代を生きる高校生たちには、さらなる広い視野と、人間と文化の多様性を理解する姿勢が求められます。私たちの取組みが、そのような未来を生きる次代の人材育成に寄与できたと言えるのであれば、これ以上の喜びはありません。

最後になりましたが、本校SGHの活動にお力添えいただきました関係諸氏に改めて感謝申し上げますとともに、今後の次のステージの取組みに対しても、より一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月
大阪教育大学附属高等学校平野校舎主任
佐藤賢司

目 次

I.	研究開発の成果	…1
II.	研究開発Ⅰ 課題研究（4年次）	
	1. 課題研究（第1学年）の実践報告	…22
	2. 課題研究（第2学年）の実践報告	…28
	3. 課題研究（第3学年）の実践報告	…35
	4. 海外研修旅行（タイ）	…48
	5. 海外フィールドワーク（カンボジア）	…55
	6. SGH 課題研究発表会	…64
III.	研究開発Ⅱ 教科：アクティブラーニング	
	1. 教科：アクティブラーニングの概要	…71
	2. 各教科の実践報告	
	国語	…72
	地歴・公民	…74
	数学	…76
	理科	…78
	保健体育	…80
	英語	…82
	生命の倫理	…86
	公共と経済	…88
IV.	研究開発Ⅲ 評価開発	
	1. 評価項目及び評価開発の概要	…90
	2. 生徒の分析（SGH2期生の生徒の変容）	…90
	3. グローバル・リーダーの新たな評価指標（GPAT）の開発	…96
	4. 保護者アンケートの結果	…101
	5. 本校教員アンケートの結果	…104
	6. 教員研究・交流会の成果と課題	…105
V.	成果の普及	…118
VI.	研究協力者・団体一覧	…120
VII.	運営指導委員会議事録	…122